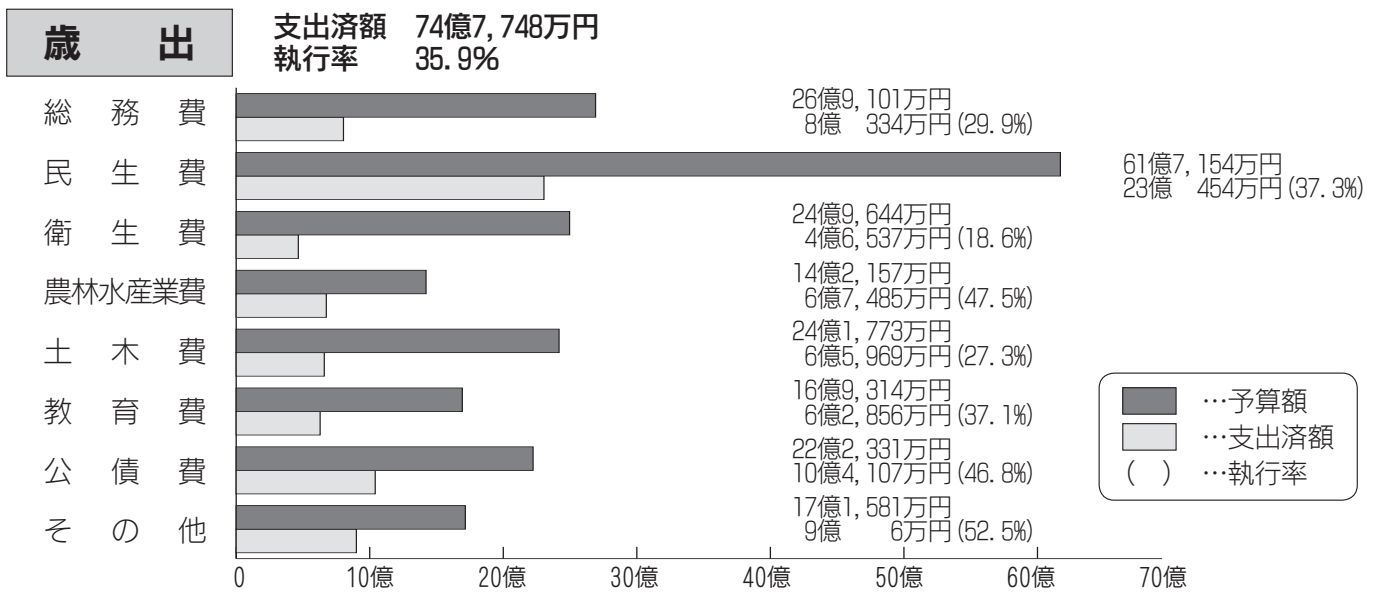
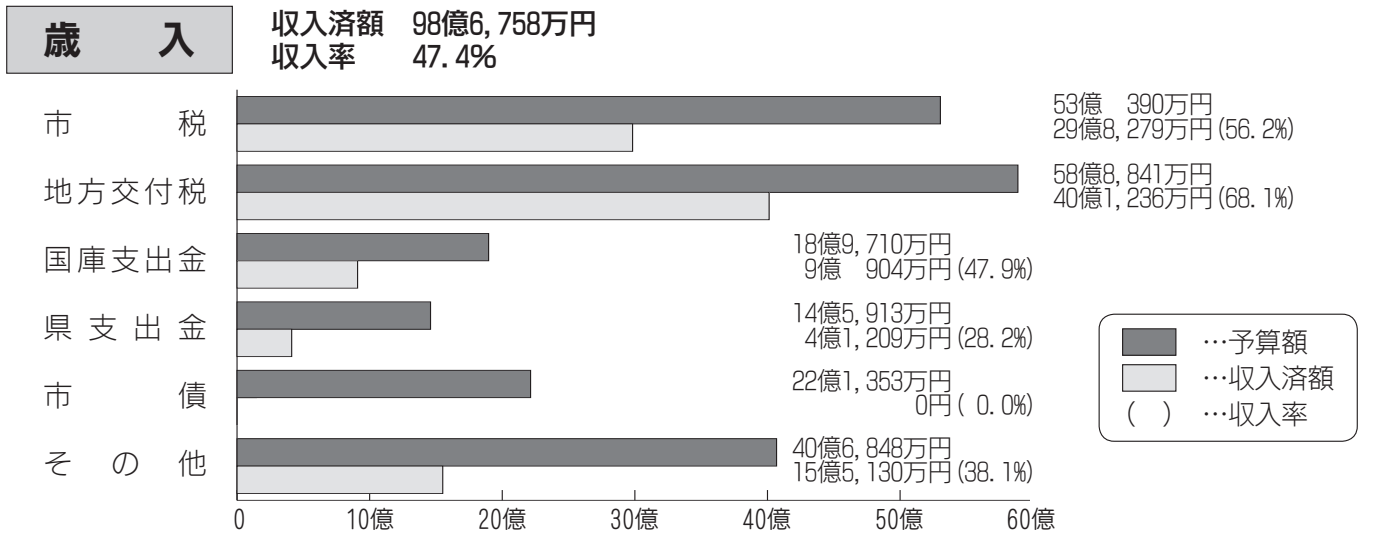


財政状況

市では毎年2回、財政状況をお知らせしています。
 今回は、平成27年9月30日までの財政状況で、市民の皆さんに納めていただいた税金などの歳入状況と、これにより実施したさまざまな事業の歳出状況をお知らせします。

☎ 財政課財政係 ☎ (22) 2111 (内線221)

一般会計 予算額 208億3,054万円



特別・企業会計予算の執行状況

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	61億1,136万円	24億3,468万円	39.8%	25億5,019万円	41.7%
後期高齢者医療事業	4億3,187万円	2億6,011万円	47.7%	1億6,119万円	37.3%
介護保険事業	42億5,102万円	16億1,576万円	38.0%	16億5,887万円	39.0%
倭財産区事業	69万円	27万円	39.4%	18万円	26.6%
永田財産区事業	54万円	24万円	44.6%	2万円	2.9%
中野財産区事業	194万円	40万円	20.4%	23万円	11.8%
下水道事業	18億5,374万円	6億9,125万円	37.3%	7億2,744万円	39.2%
農業集落排水事業	7億5,810万円	2億6,216万円	34.6%	3億2,983万円	43.5%
水道事業		4億6,413万円		5億6,601万円	

市の財産	土地	193万6,924㎡
	建物	22万9,024㎡
	基金	115億6,031万円
市の借金	市債	417億1,688万円
	一時借入金	0円
債務負担 (将来にわたる債務の負担)		25億8,099万円

市民リレー元気の輪

No.17

矢沢玉枝さん
からのご紹介



○自己紹介

兄が終戦直前に戦死したことで、家の跡を継ぎ、農業一筋で過ごしてきました。戦前から父がリンゴを栽培していましたが、私の代からはアスパラガスや酪農を中心に転換しました。50年以上、朝晩の搾乳や牛の世話を続けてきましたが、2年前に乳牛を売り、酪農から野菜中心に切り替えました。

現在は、キュウリ、トマト、ナス、ズッキーニ、タマネギ、白菜、大根など無農薬野菜を何十種類も栽培し、共撰所や直売所に出荷しています。良いものを作るには「ずく」と研究が必要で大変ですが、これからお客さんに喜んでもらえるような野菜づくりをしていきたいです。



つちや しろ さん (間山) 土屋 志郎

また、日野原重明

先生の「生きかた上手」という本を読み、何歳になっても新しいことに挑戦することに意味があるという考え方に感銘を受け、8年前にシニア大学を受講しました。新しい仲間もでき、一緒に旅行に行ったり、刺激ももらって財産になっています。



▲北信五岳が一望できる畑

○元気の秘訣

市のスポーツ教室がきっかけで2年前にヨガのグループを立ち上げました。現在も月に3回、20数名のメンバーが集まって活動しています。ゆっくりした呼吸法と動作で、年齢を重ねた人や体を悪くした人でもマイペースで取り組めるので、健康のためにはとてもいいと思います。

○おらほの自慢

古墳が発見されるなど、古くから人が住んでいた間山地区。三方を山に囲まれ、水が豊富で昔から住みよい場所だったのだと思います。北信五岳がとて美しく見え、これからの時期は、ぼんぼこの湯の露天風呂に浸かりながら眺める市街地の夜景も最高です。

池田市長の

わくわくレポート

vol. 28



晋平少年少女合唱団 定期演奏会に参加して

去る11月21日に開催された、晋平少年少女合唱団の定期演奏会に参加した。その歌声は、心に響き、実に印象に残る演奏会であった。演奏会は今回で25回を迎えたとのことであり、OBも駆けつけ、団員とOBが

一緒に合唱もあり、歴史を感じさせ、かつ世代を超えての絆を感じるものがあつた。合唱団が組成されてからこれまで、多くの子どもたちが巣立っていったことを思うと、時間軸のなかでの故郷への思いを繋ぐ仕掛けがここにもあるように感じた。

晋平少年少女合唱団は団長はじめ楽曲指導にあたる先生、後援会、保護者など関係者により支えられてあることを考えると、関係の皆さんに



敬意と感謝を申し上げたい。晋平少年少女合唱団は年中さんから高校三年生まで、年齢幅のある子どもたちで構成されており、その存在は稀有のものといつてよい。これからは私たち中野市の誇りとする合唱団として大いに活躍してほしいと思う。

さて、先ごろ中野市では、将来にわたって活力あるまちであり続けるための指針となる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。この地域創生で各自自治体とも強調しているのは、ひとの育成であり、ひとの活躍の場の創出である。ここで、主体的に問題意識を持ちつつ、自らの地域の課題解決に向けて、積極的に取り組む一つの例が晋平少年少女合唱団に見ることができると思う。

継続は力なりというが、地域がまとまることにより、それが大きな力となり、地域創生につながる。私たちの周りには自然や景観、建造物ばかりでなく、人と人との繋がりがあつた。市民の皆さんも、域内外の人と、いろいろななかたちで、交流をしているはずであり、もう一度そうした交流を見つめ直し、地域創生に役立てたいと思う次第である。